

今年の安全大会

本年も7月19日(土)に安全大会を開催しました。毎年会場はエポック中原でしたが、本年は武蔵小杉にある「ホテル精養軒」で開催されました。

安全大会は第1部が式典、第2部が講演、第3部が懇親会の3部構成で進められます。あいにく私は第1部2部には参加できませんでした。なぜかと申しますと、とある施設から「すぐに見に来てほしい。」との修理の依頼の連絡がありました。現場から帰社する途中でその施設へ向かい、伺って調査してみるとトイレの天井から漏水していました。その場で応急処置し(後日完全復旧工事をさせて頂きました)、安全大会の会場に向かいましたが第1部・2部は終了していて第3部となっておりました。会場では皆とても楽しんでいて良かった、今年も一年間無事故、無災害で過ごせたことが皆の笑顔になっていたのだと痛感しました。

このKKSメールをご覧頂いております皆様方にも、今年も暑い夏が続き、例年に比べて災害のとても多い年ではありましたが、あと2ヶ月余りになりました2014年を健康に留意され幸多く過ごされるよう願っております。

今後共どうぞ宜しくお願い申し上げます。堅苦しい文面になってしまいまして申し訳ございませんでした。《関谷》

で、第1部と2部は・・・

こんな感じでした

『第1部式次第』

1.開会の挨拶

2.主催者挨拶

協力会社で運営される「鹿友会安全協力会」の会長挨拶です。

3.社長挨拶

4.安全表彰

鹿友会安全協力会より1名と弊社より1名が毎年表彰されます。本年は工事課SLの黒瀧でした。

5.事例発表

増改築工事の安全について営業技術課の小西より発表がありました。

6.来賓挨拶

川崎市議会議員の松原茂文様にご参加くださいました。

7.安全宣誓

安全協力会の代表が安全への宣誓を行いました。

8.安全唱和

2014年の安全スローガンを全員で唱和しました。

9.閉会の挨拶



第2部は「体操で心と体をリラックス」と題して、健康Life体操S&Sの小坂さんと藤元さんに講演して頂きました。NHKの体操に出演されていた方です。みな立ち上がって一緒にストレッチからラジオ体操まで教えて頂きました。本当のラジオ体操の難しさと自分の思い通りに動いてくれない体に驚きました。いつも現場で汗を流している職人さんたちも、使う筋肉が違うんですね。

もちろんエアコンは効いていたのですが、みな程良く汗をかき、程良く体が痛みました。喉も乾いて飲み物が恋しくなった所で第3部へ移動となりました。



お客様紹介

中原眼科医院 様

JR南武線の武蔵中原駅から線路沿いに小杉方面へ徒歩3分ほどの場所にある『中原眼科医院』は院長の船本速男先生の父の代から続く眼の専門医院である。最新鋭の検査機器が並び、白内障・緑内障の検査・治療、仮性近視の診療や、眼精疲労の指導、ドライアイ対策・花粉症対策のほか斜視・弱視の診察など小児眼科も行いパソコンによる疲れ目の相談やコンタクトレンズの処方まで目のトラブルに幅広く応えている。船本院長は患者ひとりひとりの不安や疑問に丁寧にカウンセリングし診察していくのがモットーです。わかりやすい説明と親しみある人柄の船本先生に話を伺った。



一医師になられて心がけていることはございますか？

2000年に開院して以来、今年の春で何とか14年目を迎えることが出来ました。開院当初は、気負いから随分とひとりよがり押し付けがましい診療を行っていたという反省があります。今はとにかく自然体という事を心がけております。

一やりたいと思う診療とは、具体的ありますか？

「病を持った患者さんとしてではなく、一人の人間として接する。」ということでしょうか。一人ひとりの人間としての存在や人格、尊敬に敬意を払って対応することが、何より大切な事だと感じております。

一丁寧な診療と定評がございましたが、その他特筆すべき点などございますか？

当院に特別自慢出来るところはございません。ただ、当院で対応出来ない疾患につきましては、そのご専門の先生に適切に、そして責任をもって紹介させていただきます。

一印象深い患者さんはいらっしゃいますか？

我々の世界には「すべてのことは患者さんから学ぶ。」ということわざがあります。思い返してみると本当にすべてのことを患者さんから学んでまいりました。そしてこれからも、多くの患者さんから学ばせていただきたいと思います。

一最後に今後の展望をお聞かせください。

月並みな言葉ですが、眼科開業医としてこれからも地域の方々のお役に立てることを第一に考えてまいりたいと存じます。



中原眼科医院

川崎市中原区下小田中2-16-13

西中原中学校正門前

tel/ 044-777-7785

【診察時間】

月・火・水・金 / 9:00~13:00
15:00~18:30

土 / 9:00~13:00

木・日・祝 / 休診



加湿器

賢く過ごすためのポイント

夏が終わり、秋が近付いてくると・・・ジトジトからカサカサへ。。。あつという間にカラカラ乾燥の時期になってしまいます。そこで今号では秋から春まで欠かせない加湿器についてお話しします。

加湿器の効用

お肌の乾燥や鼻・のどの乾燥を防ぎ、湿度を高くすることにより、湿度が低い環境を好むウィルスが原因の風邪等の予防につながったり、花粉の飛散を抑える効果もあります。また、同じ室温でも湿度を上げると温かく感じるという効用もあります。

湿度の豆知識

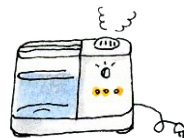
インフルエンザのウィルスは湿度50%で生存率が急速に低下し、10時間後にはほぼ全滅します。湿度35%以下の場合には1日経過してもまだ生存しています。同時に湿度が低いとどの粘膜の防御機能が低下するのでますますインフルエンザにかかりやすくなるのです。ただし、湿度を上げすぎると結露・カビに悩まされることに。できれば湿度をチェックして40～60%を保つのがベストです。また、人の主観的湿度判断はとも不正確ですので、湿度計か湿度センサー付の加湿器できちんとチェックしてください。



加湿器の種類

加湿器は大きく分けると4タイプあります。タイプごとに簡単に説明します。

①スチーム式	②気化式	③ハイブリット式	④超音波式
			
・加湿能力が高い ・蒸留水が放出されるので衛生的	・消費電力が少ない ・やけどの心配がない	・加湿が早くパワフル ・やけどの心配がない ・省エネ機種が多い	・安価 ・やけどの心配がない
・消費電力が多い ・熱蒸気が出るためやけどに注意 ・カルキが付くのでこまめな清掃が必要	・加湿能力が低い ・ファンの音がする ・室温が下降する	・価格が高め ・フィルター交換が必要 ・ファンが回ると運転音がする	・加熱しないのでこまめに清掃しないと雑菌などが繁殖する。その菌を部屋にまき散らす



①スチーム式はやかんの蒸気(沸騰)と同じ原理です。熱い蒸気がやかんの口から出るように見えます。②気化式は扇風機に濡れタオルをかぶせた原理です。気化してしまうので蒸気は見えません。③ハイブリッドはドライヤーに濡れタオルをかぶせた原理です。湿った風が出るだけなのでやはり蒸気は見えません。④超音波式はスプレーや霧と同じ原理です。タンクの水を超音波で振動させ噴出す仕組みです。

最後に



毎年様々に進化した加湿器が販売されています。部屋の大きさや置く場所、子供やお年寄りのいるご家庭、各ご家庭の生活スタイルに合わせて選んで使用してください。快適な住空間で風邪知らずの快適な秋から春をお過ごしくださいませ。もちろん！うがい手洗い忘れずに！《鹿嶋》

KKSの新たな仲間



5/21に営業技術課の一員として配属となりました。富林昌代です。入社して5ヶ月が経ちましたが、まだ分からない事が多く、周りの方に迷惑をかけている毎日です。1日でも早く慣れる様に頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

ミツバチの話

Part4 最終回

皆さんこんにちは。今回のミツバチのお話は「ハチたちの会話」についてです。ハチたちはどうやって会話をしているのでしょうか？やはり言語があって話しているのか？それともテレパシーみたいな能力があり意志の疎通が出来ているのか？どうなのでしょう。実は・・・ハチたちはダンスをして会話をしているんです。まさに「ボディランゲージ」ですね。例えば、一匹のハチがとても美味しいミツを見つけました。「早くみんなに教えて取りに行かなくちゃ。」と思うわけです。巣に戻りそのハチはぐるぐる円形に回る「ぐるぐるダンス」をします。「グルグルダンス」は「何か良いものがあるから取りに行こう。」の意味です。そのダンスを見た他のハチがマネをして、それがもう一匹またもう一匹と増えていき伝言ゲームのように皆に伝えていきます。また、その「何か良いもの」が良ければ良いほど、激しいダンスになるそうです。そして今度はお尻を振る「ふりふりダンス」で巣からの距離を知らせます。更に羽根の羽ばたく数で詳しい情報を伝えていくそうです。誰が決めたわけでもなく、自然に出来たコミュニケーション方法ですから本当にすごいですね。会話やコミュニケーションの苦手な方がいらしたらハチたちのまねをしてダンスをしてみたいはいかがでしょうか？さて、今回でハチのお話はひとまず終了とさせていただきます。また、再開できればと思っておりますので宜しくお願い致します。《古谷》

終

編集後記

▼早いもので前回のKKSメール発行から5カ月余り過ぎ第8号の発行となりました。このKKSメールを楽しみにしているお客様もいらっしゃると思います▼近年は真夏の猛暑が過ぎてから、気が付くと秋を感じる事なく冬になっているような気がします。四季の移ろいを楽しめる余裕もなく過ぎてしまっているのは自分の気持ちに余裕がないのかと反省しております▼食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋など秋の楽しみ方は皆様それぞれあるかと思いますが、秋はスポーツ観戦するには絶好の季節でもあります。弊社もサポートカンパニーとして応援している「川崎フロンターレ」が現時点(10月4日時点)で何とか3位につけております。今号が皆様のお手元に届く頃にはどうなっているのかわかりませんが、何とか優勝争いに絡んでいるよう応援していきたいと思っております▼季節の変わり目とてにかく体調を崩しがちですが、皆様体調にはくれぐれも気を付けてお過ごしください。また、今回は初めての試みとして弊社のお客様へのインタビューを掲載させて頂きました。今後もご紹介していけたらと考えております。ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら、是非弊社スタッフまでお声掛けください。《黒瀧》